

プラスター

【禁忌・禁止】

- 歯科診療、歯科治療以外には使用しないこと。
- 本品の正しい使用のために、注意事項を必ず守ること。
- 劣化や異常が見られた場合には、本品の使用を中止すること。
- 本品の形態変更や改造は絶対しないこと。

【形状・構造及び原理等】

1. 形状

本体



*先端ノズル



2. 主な原材料

本体：ステンレス

3. 原理

本品は歯科用ユニットより供給されるエアー源により、プラスチック容器に充填された粉末を噴射する。

【使用目的又は効果】

補綴物等の研削に用いたり、補綴物等の内面を粗面にすることで接着性を付与、強化する。

【使用方法等】

1. 本体の準備

- ① 本体のプラスチック容器に専用の酸化アルミナ(50μ)を
●印を超えない程度の量を入れ、しっかりと固定します。
- ② 専用のアダプターを本体後部に固定します。
各メーカーのチェアに対応した専用アダプターはNSK、YOSHIDA、MORITA、KAVO、OSADA、SIRONAの6タイプがあり、その他のメーカーには対応しておりません。

2. 使用する前に

チェアユニットのハンドピースホースのカプラーをアダプターに接続します。接続の方法はハンドピースを接続する場合と同様です。専用アダプターは水の回路を遮断する構造になっていますが、念の為チェアユニットからの水供給をOFFにしてから使用してください。チェアユニットのフットスイッチにてプラスターのON/OFF ができます。事前の噴射状況はコイン等、金属表面に噴射することで出力及び範囲を確認できます。

*3. 操作方法

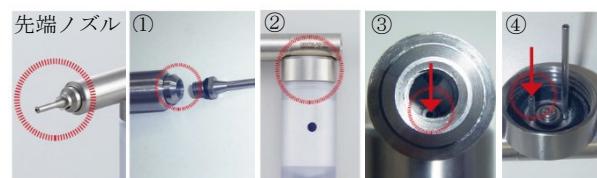
- ① 対象面をアルコール等で清掃し、油分等の汚れを除きます。
- ② ノズル先端を対象面より5~10mm離した状態で保持し、フットスイッチを踏み、粉末を噴射します。
- ③ 処理表面が粗面になり色調が変化するのを確認します。
- ④ 必要な場合は、指で触れないようプライマーを塗布します。処理後、油等で汚染された恐がある場合、対象面をアルコール等で清掃した後、再度サンドblast処理をしてください。

4. アダプターの交換方法



専用アダプターは本体後部の…点線部分で取り外し可能です。カプラーに合ったアダプターに交換できます。

*5. 粉詰まりの解消方法



- ① 先端ノズルを取り外します。
- ② プラスチック容器を外します。
- ③ 内部に見える穴2つのうち、下が粉の通るチューブです。この穴に清掃用ワイヤーを入れ、清掃します。
- ④ 短いチューブが粉の通るチューブです。この部分を③と同じく清掃します。

※スリーウェイシリンジ等（エアーのみ）で空気を全体に通してください。

* 【使用上の注意】

本品を使用する前には次の事項に注意する。

- 使用前に必ず本品を作動させること。
異音や異常な振動を感じたら使用を取りやめること。
実際の対象物に使用する前にコイン等や金属片を用い、試し噴射し強さを確認すること。
- 使用するホースへの水供給を必ずOFFにすること。
- ノズルや本体の接続部にゆるみがないか確認すること。
- 使用する際は、保護メガネをかけること。
エアーパターンは、2.5~5気圧にて使用すること。
- 使用中粉末が周辺に飛散する為、口腔外バキュームの近くか、飛散防止の容器内で用いること。飛散により精密機器や光学機器に影響が出ることがあります。また、飛散した粉末が眼に入った場合、多量の水で洗い流し、専門医の受診を受けてください。
- 必ず歯科医療有資格者が用いること。
- 対象物のうち、サンドblast処理が不要又は処理してはいけない面は、適切な材料を用い保護すること。
- 本品を口腔内で使用しないこと。

【貯蔵・保管方法及び有効期間等】

- 使用後は、本品をエアー源から必ず外し、乾燥した場所に保管すること。
- 濡氣、日光、ほこりやガス等の影響がない場所に保管すること。
- 長期間使用しない場合は、粉末を別の容器に移し、空にした状態で空気を送り、中に残った粉末を取り除いてください。

【保守・点検に係る事項】

使用者による保守点検事項

- 機器及び部品は必ず定期点検を行うこと。
- しばらく使用しなかった本品を再使用する時には、使用前に必ず正常かつ、安全に作動することを確認すること。
- 各パーツを取り外し、エアーでチューブの清掃を行うこと。
- 使用前に必ず試し噴射し、粉末の噴射状態を確かめること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- 濡度の低い乾燥した場所に保管すること。
- 振動、衝撃を過度に加えないこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

<製造販売業者>

Angelus Japan 株式会社

電話番号：072-657-7756